

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三・五

TEL 027・2555・3434

FAX 027・2555・3435

http://www.neues-asahi.jp

例年にならないような大雨・洪水・土砂崩れ情報がテレビ画面にスーパーでながれ、その間に各地で発生する緊急地震速報が報知音とともに不安をかきたて、さらに現地の人々の生活や心情を思うと心が痛みます。前日の生活が一変して家族を失った方、また避難生活が何日も続き、先のみえない不安から日々生活をしている方、どんなに不自由な生活をしているのか・・・。

雨ニモマケズ

風ニモマケズ

雪ニモ夏ノ暑サニ

モ マケヌ

丈夫ナカラダヲ

モチ

デスクの前に掛けてある宮澤賢治の手帳(復刻)の文字が重く感じられます。

3・11東日本大震災の影響でしばらく心身ともにダメージを受けた時期を考えると、立ちなおることの難しさ、人のサポートの力の重要さを感じます。

最近では、「終活」という言葉が定着してきています。人生の終りのための活動として葬式やお墓や相続、身のまわりの整理などと考えがちですが、人生の第三、第四位の再出発と考えて「少し身のまわりを整理する」あるいはリセットすると考えたらどうでしょうか。

以前に「ノイエスだより」で書いたことかもしれませんが、一歩先を見つめる「今日」を生きたること、命の大切さを感じましょう。

ノイエス朝日では、八月下旬から来年にかけて大きな展覧会が二十数企画入っています。少し早いお知らせですが、二〇一八年の新春特別企画の幕開けは、工芸大国「石川」の伝統工芸で活躍する精鋭作家六人による展覧会を開催致します。陶芸、染色、漆芸、木竹工といずれも日本工芸会正会員の作家たちによる作品の展示です。

詳細につきましては来月の「ノイエスだより」からご紹介いたします。

伝統の美・技・心を現代の暮らしに生きた工芸品として制作している作家たちとの出会いは心をときめかせてくれるものと思います。

新しい作品との出会い、その洗練された「技」から生み出される「美」そして生活の中に取り入れた時に感じる「心」。今から楽しみます。

(武藤)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

第52回 自由美術群馬展

会期 八月二十六日(土)～三十日(水)

午前十時～午後五時三十分(最終日は五時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

*二十七日(日) 十四時から自由参加の批評会を行います。
事務局 027・251・5440(中林)

藤重朋紀 写真展

画家とパレット 色の記憶

会期 九月一日(金)～四日(月)

午前十時～午後五時三十分(最終日は午後五時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

三十数年前から出会った画家と当時使用していたパレットを撮影し始め、その後も彫刻家、陶芸家、音楽家、現代アートの人物を撮り続ける。懐かしい画家や作品を思い起こさせるパレットも興味深い。

連絡先 027・233・4650(藤重)

原 誠二展

〈企画〉

会期 九月九日(土)～十七日(日)

午前十時～午後五時三十分(最終日は午後五時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

飯出製袋市

暮らしの挽物工芸展

〈企画〉

会期 九月二十三日(土)～十月一日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日 休廊のお知らせ

ノイエス朝日(ギャラリー)は、

八月十四日(月)～二十二日(火)まで休廊しています。
展覧会のお問い合わせは、展覧会会期中にお電話下さい。

電話 027・2555・3434

今年も恒例になりました「ふる本市」を十一月四日(土)から十二日(日)まで開催いたします。

ノイエス朝日では、エントランスを過ぎて右側に古本コーナーを常設していますが、今ではなかなか手に入らない希少本や専門書を展示販売しています。

本を箱から出して表紙に触れ、扉を開いて文字に出会い、頁をめくって活字をおい、著者の声を感じ、新しい世界との出会いに胸が高鳴り、その世界の空気を感じ・・・。
そんな出会いを一冊の本を手にするたびに味わえる。
ノイエスに来廊されましたら、是非味わってみて下さい。

知人の遠藤敦司氏から第十四回薩摩琵琶十尺八と箏の調べのご案内をいただきました。

坂田美子(琵琶・語り・歌)、稲葉美和(箏・作曲・編曲)
坂田梁山(尺八・笛・編曲) 出演による演奏会です。

十月一日(日) 午後二時から煥乎堂5階ホールで開催されます。チケットは前売り三〇〇〇円

電話予約は080・5653・3699(遠藤)
遠藤敦司氏は、企画・構成・脚本・進行

ノイエスの二階会議室をご利用いただいている公香会の方より「和文化的融合」のご案内をいただきました。

室町時代より続く「和文化的融合」香道、大鼓の世界をお楽しみ下さい。香席、大鼓鑑賞につきましては、定員があまり少ないので、ご希望の方は八月二十八日(月)までに直接パンフレットの申し込み先までご連絡をして下さい。
参加費用や日時につきましてはパンフレットをご覧ください。